

夏の終わりの思い出

2023 8.21(月) ~ 27(日)

Art Center Ongoing 会場: アートセンターオンゴイング 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-8-7 Presented by Ongoing Collective

ラーニングをみんなで体験する・知る・考える

ラーニングを

みんなで

体験する・知る・考える

子どもたちがこれからの社会を生きるために必要なものとはなんだろうか。

英語? 一般教養? それともコミュニケーション能力? どれもとても重要なものだと思いますが、それらに先立つて必要なものとは“想像力”であると考えます。

何が問題かを理解するために 先に起きることを見据えるために 環境や状況に振り回されないために そして他者を思いやるために

子どもたちが生きていくこれからの社会は、私たち大人が生きてきたこれまでの社会よりも、いっそう複雑さを増し、解決し難い困難な状況も増えていくことでしょう。その時に必要となるものは想像力であり、逆に言えば、それさえあれば多くの場面で乗り越えていけるはずです。その想像力を育てることができるもの、それこそが芸術であると私たちOngoing Schoolは考えます。

Ongoing Schoolは2019年に開校し、沢山の子どもたちがさまざまな芸術を体験してきました。コロナ禍を乗り越え、今年2023年の夏、再び対面のコースを再開します。

今回のOngoing Schoolでは「ラーニング」を大きなテーマに掲げています。「ラーニング」とは、講師が生徒に何らかの知識を教える、といった一方向性の学びではなく、講師を含めたその場に参加する全ての人々が、それぞれの知識や経験を共有しながら、双方に学んでいくという新しい美術教育のスタイルです。これまで公演してきましたが、それはOngoing Schoolを開校した当初より大切にしてきた方向性だったりもします。

「ラーニング」には、あらかじめ用意された答えがあるわけではありません。むしろ、その場に参加する人々が共同で「学び」を導き出していくことが大切なのです。そこで

未来の子どものために

アーティストたちが未来に責任を持ちながら考えたそれぞれのプログラムは、学校の図画工作の時間とも、美術館での作品鑑賞とも違った生のアートが立ち上がる瞬間に触れる体験を子どもたちに提供します。勿論、今回のプログラムが完成形ではない。そもそも教育に完成形などはない。私たち大人が、アートを通して子どもたちを社会に迎え入れるとはどういうことなのか? Ongoing Schoolは、終わらない試行錯誤を続けていく。

プログラムディレクター 山本高之



導き出された「学び」は、参加した人々の中で変化し続け、ずっと先になってから、フタ立ち現れることだってあるかもしれません。「学び」の夏は終わらないのです。

Ongoing Schoolの講師となるのは、現代美術の第一線で活躍するアーティストたちです。今回も、子供たちだけではなく、大人と一緒に参加できるプログラムも多数用意しております。2023年の夏、子供から大人まで、共に「学び」を導く=「ラーニングする」みなさんをお待ちしています。

Ongoing School 総合プロデューサー 小川 希

小川 希(おがわのぞみ) 1976年東京生まれ。武蔵野美術大学卒。東京大学大学院国際情報学府修士課程修了。2008年1月に東京・吉祥寺に芸術複合施設Art Center Ongoingを設立。現在、同施設の代表。文化庁新進芸術家海外研修制度にてウィーンに滞在(2021年-2022年)。中央線高円寺駅から国分寺駅周辺を舞台に展開する地域密着型アートプロジェクトTERATOTERAディレクター(2009年-2020年)、茨城県北芸術村推進事業交流型アートプロジェクトディレクター(2019年)、社会的包摂文化芸術創造発信拠点形成プロジェクトUENOYES(ウエノイエ)ARTS TIME PROJECT ディレクター(2018年)など多くのプロジェクトを手導ける。



山本 高之(やまもとたかゆき) 1974年愛知県生まれ。愛知教育大学大学院修了後演義、チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインMA修了。小学校教諭としての経験から「教育」を中心テーマのひとつとし、子どものワークショップをベースに会話や遊びに潜む創造的な可能性を通じて、普段は意識されることのない制度や慣習などの特殊性や、個人と社会の関係性を描く。近年は地域コミュニティと協働して実施するプロジェクトに多く取り組んでいる。テート・ギャラリーの教育普及プログラムのリサーチでロンドンに1年間滞在(2017)



申込方法

二次元コードを読み取り 申込みフォームからお送りください。

- ① 申込み希望コース
② 参加者氏名(ふりがな)
③ 学年・年齢
④ 保護者氏名
⑤ 住所
⑥ つながりやすい電話番号、または携帯番号
⑦ メールアドレス



※お申し込み後、2日以内に返信がない場合は再度お電話にてご連絡ください。 ※参加費のお支払い先についてはお申し込みにご案内します。

ACCESS

Art Center Ongoing アートセンターオンゴイング JR中央線吉祥寺駅より徒歩10分 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-8-7



Ongoing Collectiveとは

東京の吉祥寺にある芸術複合施設 Art Center Ongoingのディレクター小川希の呼びかけによって集まったアーティスト39名、ミュージシャン2名、キュレーター4名、コーディネーター6名からなる全51名のアーティスト集団。2016年結成。個人では成し遂げられない様々なプロジェクトを進めています。



ongoing collective web

問い合わせ

Ongoing School事務局

東京都武蔵野市吉祥寺東町1-8-7 TEL:090-9207-6434 (担当:小川) MAIL:school@ongoing.jp 主催:一般社団法人Ongoing



ongoing school instagram



ongoing school web



Design: Yuki Haseki Illustration: Takahiro Iikawa

ラーニングを体験する

2023年夏のOngoing Schoolでは、子供から大人まで参加できる、6つの体験プログラムをご用意いたしました。一つでも、複数でも、もちろん全部でも、みなさんそれぞれの興味に沿った「ラーニング」のプログラムを自由に選んでみてください。パリエティ豊かな6つの入口の先々には、終わることのない沢山の「学び」が広がっているはずです。

1 8.21(月) 14:00~15:30頃 8.26(土) 14:00~16:00頃 ※2日間にわたるプログラムです。

わからないこと体験会

対象年齢...高校生~ 参加費...18歳未満:8,000円 18歳以上:12,000円 (親子で参加の場合、お子様4,000円引き) 持ち物...初日は特になし。2日目の持ち物は初日に説明します。

1 目目は私がこれまでの人生で見つけた、身体に不思議な感覚を得るための方法を皆さんにシェアします。体験者それぞれの感覚の違いを話します。2日目はそれを踏まえて、色んな体験を相互に持ち合い、皆で試してみよう。思い当たらないけれど、どこかで聞きかじったような内容を検証しても良いし、他のひとが持ってきた体験をアレンジしてみても良いかもしれません。不思議な体験の時間を過ごしましょう!

一緒に学びたいこと

僕たちの身体は実はうまく言語化できない感覚を常日頃から覚えています。普段は気に留めないような体感に、一緒に身体を動かしながらじっくりと意識を集中してみましょう。僕たちの身体や感覚の分らないなを一緒に探ってみましょう!

講師 二階 隼人(にとうけんど) 1986年、埼玉県生まれ。同年在住。言語化し理解する過程で取りこぼしてしまう感情や感覚、現代において獲得しにくい「実感」を自身の身体を通じて追究する。代表作には、自身が一般市民の聲と世界中の街を全身で触れながら積み上げていく「街の声」、他者の重さを真下から両足で踏み締める装置「誰かの重さを踏みしめる」などがある。



2 8.22(火) 14:00~17:00 8.24(木) 14:00~17:00 ※2日間にわたるプログラムです。

じゃないビデオレター

対象年齢...子ども・9歳~14歳(左記以外の小中学生は応相談) 大人:18歳以上 ※子ども、大人それぞれ定員5名程度 参加費...18歳未満:8,000円 18歳以上:12,000円 (親子で参加の場合、お子様2,000円引き) 持ち物...子ども:あなたが大切にとっているモノを1点 大人:あなたが家の何かが捨てられないモノを1点

いつもわいたしは、だれかに「おもしろい」を伝えるとき、言葉にします。話しかける。手紙を書く。電話をかける。メールをうつ。チャットでさつと。絵文字も入れたりして、やり取りしています。「ビデオレター」もその一つです。誕生や結婚のお祝いにも、お葬式や卒業のお別れにも、少し特別な機会に言葉では伝えきれない、いつもは言えない「メッセージ」を音声・写真・動画を併せて送ります。うまくいくと、受け取った人の心にしみ、関わったみんなを幸せにします。ふと疑問がわきます。わざわざビデオレターにすることを必要とする? 特別な機会ってなんだろう? どうしたら心を動かせるのかな? ビデオレターの価値をもう一度考え直してみたい。【モノに宛てたビデオレター】を用意することに、取り組んでみることにします。本企画では、あなたが持ってきたモノに関わる「あなたの声」をつむぎだし、映像化することを、試行錯誤と自作自演を通じてラーニングします。

一緒に学びたいこと

正直なところ、私自身「ラーニング」の本質的な価値をしっかりと捉えることができていません。そうはいっても年々、似た呼び名の言語の回りを飛び交っています。ディープラーニング、オンライン、アクティブラーニング、アンラーニング...更にプロンプトエンジニアリングが猛烈な勢いで「エドゥケーション」の扉を揺るがし、新しい何者かの到来を実感させられたりします。そんな今、自分の足を見つめ直してある。重たに他者との創造的な関わりの中から言葉を探る。ビデオレターを用いる企画を通じて、人間関係・記憶・思考から発せられる全生の美しさをとらえてみたい。

講師 巖山 啓輔(いざやまけいすけ) 帝京平成大学メディア文化コース講師、武蔵野美術大学造形学部映像学科卒。東京を拠点に、風景に関わる人の記憶の在り方を探りながら、主に短編映像・映像インスタレーション・写真を制作・発表・研究している。 http://sagiya.yama.com



3 8.23(水) 14:00~16:00 たき散歩 対象年齢...小学生3年生~ 参加費...18歳未満:4,000円 18歳以上:6,000円 (親子で参加の場合、お子様2,000円引き) 持ち物...なし



4 8.24(木) 10:00~13:00 お互いを描こう 対象年齢...小学校5年生~ ※小学校低学年以下の場合、保護者同伴で参加可能 参加費...18歳未満:5,000円 18歳以上:7,000円 ※材料費込み (親子で参加の場合、お子様2,000円引き) 持ち物...使い慣れた画材(あれば)、汚れて良い服、新聞紙

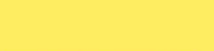


5 8.25(金) 10:00~15:00 オンゴイングスクール 音頭をつくる! 対象年齢...小学校3年生~ ※小学校低学年以下の場合、保護者同伴で参加可能 参加費...18歳未満:8,000円 18歳以上:12,000円 (親子で参加の場合、お子様4,000円引き) 持ち物...お盆ごはん

この企画は、必ずしもプラス(描く)ばかりが創造ではない。マイナス(消す)もまた創造になるのではないかと、探っていきま。また自分のドローイングを「消される側」と「消す側」になることで、どのような感情が生まれるのかを探ります。現代アート作品をどうにかして、現代アートに於ける「一見、何もしない制作」や「他者との関係性」、または「共有作業的な制作手法」。「マイナスとプラスの力の転換」、そして「言葉の意味付けによって作品の見え方が変わる事」など、私達の普段の生活にも通じる考え方に触れて、それらを一緒に学び考えていけたらと思います。

講師 小川 希(おがわのぞみ) 1976年東京都生まれ(2002年より長野県茅野市在住)。画家、1997年ベルギー-王立アントワープ美術アカデミー修了。長野や東京を中心に近隣県やベルギー、インドネシア、オランダなどで展示活動。プロジェクトやグループ展の企画、ワークショップの監事の責をなるべく押し負えず活動する。開校後の生徒の成長の喜びや今回のスクールについて思ったことを振り返りながら歌詞を作り、できた歌詞から着想を得て振り付けを作り、最後にみんなで歌って踊りたいと思います。

令和時代の散歩の達人(滝川たきを)が吉祥寺に再々降臨! 歓迎光臨!! 様々な行いを通して散歩の新たな可能性を探ります。



集まった人たちに、相手の話(互い立ち、仕事の話、生活の話、最近の話などなんでも。)を聞きながら、見ながら肖像画を描こう。使い慣れた画材があれば、ご持参ください。ない場合は、油彩用具をご用意します。(以下Wikiより) 肖像(しょうぞう)とは、特定の人間の姿を表現した絵画や写真、彫刻である。個人の識別に必要な身体の一部である顔を含むが、全身あるいは全身が題材となることが多い。特に絵画によるものを肖像画、写真によるものを肖像写真と呼ぶ。写真性(顔像)が求められる場合もある。芸術的な造形や精神性を示すこともある。



語は日本全国で民衆の生活の中から生まれ、歌い継がれてきたもので、楽曲に則っては作られておらず、拍子や不規則なものも多く存在するそうです。要はプロでもなんでもない人たちが勝手につくって歌っていたら広まった! ということですが、まだ民謡のほとんどは語りを伴い、それは民謡らしい暮らしを送る民衆たちのやろぎにもなっていたそうです。歌詞の内容はその土地のことや仕事をしている風景、守り唄、お祝いの場を歌っています。この企画では民謡を勝手につくって歌ってたら広まったように、オンゴイングスクールのオリジナル民謡をつくりたいと思います。まず最初に本物の民謡のレコードを聴きます。歌詞カードの中には踊りの仕方などが絵や文章などで描かれているのでそれを見ていきます。その後、オンゴイングまでの道のりや今回のスクールについて思ったことを振り返りながら歌詞を作り、できた歌詞から着想を得て振り付けを作り、最後にみんなで歌って踊りたいと思います。

一緒に学びたいこと 散歩、つまりは気晴らしのために興味を越え、また、でも他人になるべく遠慮をけずらずにかつ独自の考えで歩んでいくことを、相互に実践してみたいと考えています。

講師 東野 智史(ひがしのてつし) 1999年武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科卒業。非生産的産産活動という名の目も、日常の取るに足らないことかと思いつきに對してのレスポンスを制作の起点として、インスタレーション、ビデオ、Web、パフォーマンスなど、メディアを用いて展開する。 http://www.worlth.net

一緒に学びたいこと アリスニールという画家を最近知りました。画像表現主義全盛のアメリカで生まれるながら、近所の人とか、友達とかをモデルにして椅子に座らせて、肖像画を描き続けた画家だそうです。かつこいつ! 私も肖像は写真を多く描く画家ですが、実際にモデルを見ても描くことが、20年くらいしていません。多分はじめたてのみさんとお話ししながら、見ながら描いてみたい、と思い、考えた企画です。油絵の使いかたかなお教えできると嬉しいです。気軽にご応募ください。

講師 出陣 菜子(いでつきょうこ) 東京在住、制作中。日常の中の数えられるに足りない小さい話、本で読んだ話、SNSで読んだことなどをもとに絵を描いている。

一緒に学びたいこと 民謡はいの意味でチトトとです。その場の声/りと良い加減を察し込みながら自由に歌って良いかと思ったり。僕は普段曲は作っていませんが、今回音楽ができるのではない関係なくみんなで作詞作曲を作ってみよう!

講師 池田 諒(いけだりょう) 長野県出身、1988年生まれ。小さい頃から歌うことが好きで中学3年生の頃よりギターを弾いて歌うことが好きになりました。近年ではギターの弦をなるべく押し負えず活動する。開校後の生徒の成長の喜びや今回のスクールについて思ったことを振り返りながら歌詞を作り、できた歌詞から着想を得て振り付けを作り、最後にみんなで歌って踊りたいと思います。



ラーニングを知る



photo by スズキアキラ

6 8.26(土) 10:00~12:00 誰でも「消されたデ・クーニング」!? 対象年齢...小学校5年生~ ※小学校低学年以下の場合、保護者同伴で参加可能 参加費...18歳未満:5,000円 18歳以上:7,000円 ※材料費込み (親子で参加の場合、お子様2,000円引き) 持ち物...鉛筆、ボールペン、消しゴム (それぞれ数個あると良い)、修正液

アーティスト、ロバート・ラウシェンバーグが1953年に制作した「Erased de Kooning Drawing (消されたデ・クーニング)」という作品は、同じくアメリカを代表する一世代前の巨匠ウィリアム・デ・クーニングが描いたドローイング(素描)を消しゴムで消し去る事によって自分の作品にするという画期的なものでした。でも立ち止まって考えると、これは一体誰の作品なのでしょう? 他者の作品消去という行為が新たな作品の制作だとして、描いたものを消去して白い紙に戻すことで何が生まれるのでしょうか? 今回の企画では最初にしっかりとドローイングを描き、交換しあい、消しゴムで消すことによって自作を制作します。他者の作品を消し去ることは創造的な行為なのか、それとも暴力的な行為なのか。そして自分のドローイングが他者に消される事によってどのような感情を生むのか、あるいはコラボレーションとなるのか。さて、あなたは一体何を発見するのでしょうか? あなたも「消されたデ・クーニング」!

一緒に学びたいこと この企画は、必ずしもプラス(描く)ばかりが創造ではない。マイナス(消す)もまた創造になるのではないかと、探っていきま。また自分のドローイングを「消される側」と「消す側」になることで、どのような感情が生まれるのかを探ります。現代アート作品をどうにかして、現代アートに於ける「一見、何もしない制作」や「他者との関係性」、または「共有作業的な制作手法」。「マイナスとプラスの力の転換」、そして「言葉の意味付けによって作品の見え方が変わる事」など、私達の普段の生活にも通じる考え方に触れて、それらを一緒に学び考えていけたらと思います。

講師 小川 希(おがわのぞみ) 1976年東京都生まれ(2002年より長野県茅野市在住)。画家、1997年ベルギー-王立アントワープ美術アカデミー修了。長野や東京を中心に近隣県やベルギー、インドネシア、オランダなどで展示活動。プロジェクトやグループ展の企画、ワークショップの監事の責をなるべく押し負えず活動する。開校後の生徒の成長の喜びや今回のスクールについて思ったことを振り返りながら歌詞を作り、できた歌詞から着想を得て振り付けを作り、最後にみんなで歌って踊りたいと思います。



8.27(日) 18:00~19:00 レクチャー 「それぞれのラーニングの現場から」 内外の美術館やアートプロジェクトでラーニングプログラムを展開・研究している方をお招きし、事例などをレクチャー形式で紹介いただきます。

参加費...1,000円 ゲスト... 落井千波(さかいちなみ) Young V&A シニアプロデューサー

佐藤麻衣子(さとうまいこ) アートエデュケーター 水戸芸術館現代美術センター 教育普及学芸員を経てフリアランス、令和3年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修員、オランダ・アムステルダムを拠点に、プログラムコーディネーター、執筆を行う。「世田谷美術院&アフィス・シーズン」精神科病院におけるアーティスト・イン・レジデンス」プロジェクトマネージャー

吉田結美(よしたけみ) 世田谷美術館普及担当学芸員 Ongoing Collectiveメンバー 1989年生まれ、長野県出身。現在、世田谷美術館普及担当学芸員。成人対象の長期講座「世田谷美術館美術大学」の企画・運営や、アーティストによるワークショップ、小中学生のための鑑賞プログラム等に携わる。またパフォーマンスプログラムの企画・実施も担当。学生時代にアートプロジェクトを経験。 photo by 結藤 直

ラーニングを考える 8.27(日) 19:20~20:30

クlostroom 「これからのラーニング」 参加費...1,000円 ※レクチャーを参加の方は500円引き 登壇者...「ラーニング」を体験するプログラム講師陣、「ラーニング」を知るプログラムの発行者、モデレーター、小川 希 Ongoing School 総合プロデューサー

「ラーニング」とは結局何なのでしょう? 「Ongoing School 終わらない夏」でのプログラムを振り返りつつ、レクチャーのゲストも交流、「これからのラーニング」を考えます。美術教育や生涯学習に関心のある方、美術関係者のみならずなどでもご参加いただけます。

